

南アフリカ共和国駐日大使の県立長崎北陽台高等学校訪問について

1. 期 日 令和6年2月16日（金）
2. 時 間 13：15～15：05（5，6校時の時間帯）
3. 場 所 長崎北陽台高校
4. 来 校 者 ルラマ・スマッツ・ンゴニャマ駐日南アフリカ共和国大使
（H.E.Mr.Lulama Smuts NGONYAMA,
Ambassador of the Republic of South Africa to Japan）
・大使夫人・大使館職員・核兵器なき世界へ Beyond The Rainbow プロジェクトスタッフ・高校教育課
5. 参加生徒 文理探究科1年81名
6. 日 程
 - 13：00ごろ 大使来校大川校長・三丸教頭 出迎え
 - 13：10 生徒着席完了
 - 13：15 開会
 - 13：20 長崎北陽台高校の紹介 ※元ラグビー選手である大使とラグビー部員との交流も予定
 - 13：30 大使よりお話
 - 14：00 質疑応答
休憩
 - 14：15 長崎外国語大学研修成果発表
 - 1. No More Plastic !
 - 2. Food Loss Education Revolution
 - 14：40 発表に関する感想等
 - 14：50 閉会
*大使のお話の時間に合わせて、質疑応答の後に休憩を入れる。
*時間が伸びた場合は閉会を15：00まで繰り下げる。
7. 参 考
 - 南アフリカ共和国は、1989年に核兵器事業を放棄しアフリカ大陸の非核兵器地帯の創出に大きく寄与。更に1991年にはアパルトヘイト政策の法的根拠となっていた法律を廃止。およそ43年に及ぶ人種隔離政策を大転換した同国は、多様性を尊重する国家として核兵器廃絶禁止条約（TPNW）の第2回締約国会議をリードしている。
 - 「核兵器なき世界へ ～Beyond The Rainbow プロジェクト～」が主催し、核兵器廃絶地球市民集会長崎実行委員会、高校生1万人署名が協力するイベント『平和への新しきビジョン』（2/17開催：出島メッセ）に講師として参加する大使・主催者の意向により実現。
 - 外交の最前線で活躍する大使との交流を通し、長崎の高校生に国際的な視点の重要性を感じ、また多様な文化的背景を尊重する心を養う機会となること期待する取組である。